【2020年４月 月間予定表 ―椚辻南校― 】 ◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

４月の予定

1	水	●
2	木	●
3	金	●
4	土	● 春期講習終了／18:30 閉校
5	日	
6	月	第１回中３Ｖ模試
7	火	
8	水	第１回実力テスト（申込者のみ）
9	木	
10	金	
11	土	18:30 閉校
12	日	
13	月	
14	火	
15	水	
16	木	
17	金	
18	土	『保護者会』（東野校／椚辻南校／醍醐校）
19	日	
20	月	
21	火	
22	水	
23	木	
24	金	
25	土	『保護者会』（椚辻北校） 『単元別特別講座』（高１対象）
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	

※諸事情により予定を一部変更する場合があります。

【２月度のMVP】

●新高２ A.K さん
毎日自習教室に来て、勉強しています。

●新中２ N.W さん
授業ノートの綺麗さ・完成度 No.1 です！

●新小６ I.N さん
●新小６ F.N さん
自習教室での、算数の学習を評価しました。

４月行事について

●中３模試…受験生初の模試。偏差値・志望校判定・教科毎の弱点分野・各種データも充実です。

【 いまあるものに気付く 】

保護者の皆様、いつもお世話になっております。

「残りの命が３カ月と言われたら何をしますか？」

36 歳で乳がんから肝臓に転移してしまった女性がホスピスに入院して来ました。
彼女は、自分の病気がすでに手遅れなことや残されている時間がどれくらいあるのかも分かっていました。
入院するとき、彼女は看護師さんに笑顔で
「私のね、家族のために大切なことをしに来たの」と話しました。
彼女にとって大切なことは、２人の子どもたちに 20 歳までのバースデーカードを書いてあげることでした。
毎日、小学３年生と幼稚園に通う２人の息子の写真を見つめながら、少しずつていねいに書いていきました。
「この子が 10 歳になったら、11 歳になったら、どんな人になっているんだろう……」と想像しながら、１枚ずつ、文章だけではなく絵もそえながら書いていきました。

お兄ちゃんが 18 歳になった時のカードには
「今日であなたは 18 歳になりました。ガールフレンドはいるかしら？
もしもいるなら、彼女を大切にしてあげてね。
男の子は女の子の体を大切にして守ってあげなきゃいけない。
それが本当の男の子なのよ……」などと書かれていました。
彼女はいろいろなことをイメージしながら一生懸命に書いていましたが、病気のために体がすぐに疲れてしまって、思うようなスピードで書くことはできませんでした。
看護師さんにはいつも
「今日はここまでの予定だったけどできなかったわ……」と悔しそうに話していました。

その後も彼女はカードを書き続けましたが、残念ながら弟さんのカードは 15 歳までしか書くことができませんでした。
このことを最後まで気にしていた彼女は、
もしも「何でぼくのカードは 15 歳までしかないの？」と子どもに聞かれたら
「交互に書いたんだけど、年の差の分、書けなかった。書いてあげられなくてごめんね」と伝えてほしいとお願いをしました。
彼女はご主人に誕生日カードを託して、最後は家族に見守られながら亡くなりました。

これは彼女の遺書です。
「大好きな皆さまへ
長い間大変お世話になりました。皆さまと知り合うことができて、本当に嬉しかったです。
人生の半ばで、まだまだ頑張らなければならない時に、このようなことになってしまい心苦しく思っています。ご心配をおかけして大変申し訳ありませんでした。
皆さまのご親切と励まし、心から感謝いたします。
私は病を持ってからの方が以前より自分らしさが表現でき、自然な姿の私でいられました。
大勢の方に囲まれ、家族に愛されていることを感じ、幸せな日々でした。
健康で活躍しているころは、他人と自分を比較し、高い目標をもってそれに向かうように努め、忙しく余裕もなく、自分のおかれている状況に満足することなく、日々を過ごしていました。自分に咲いている花に気が付きませんでした。
病になってから、やっと私にとって何が大切かが分かりました

ありのままの私でいいということ。
友人と語り合うこと、交わり合うこと、お互いを思いやり合うことが、私の心を温め、生きることが楽しいと思えること。時には耐えることも必要であるということ。……（中略）

楽しい思い出をたくさんありがとうございました。また、おしゃべりをしたいですね。
いつでも私のことを思い出してください。すぐに皆さまのお心のそばに飛んでいきます。
最後に神様のもとに帰ることができることを喜んでいます。
だからどうぞ寂しがらないでください。私はいつまでも家族や皆さまと共に生きています。
どうぞ、お元気で私の分まで長生きしてください。
本当にありがとうございました」

自分が亡くなる直前まで、周りへの気づかいを感じさせる文章に、涙がこぼれました。
彼女のように、必死で、清らかで、温かい……そんな生き方をしたいものです。
本当の幸せは、他人との比較ではなく、自分の中にあるはず。

いま、あなたには、どんな花が咲いていますか？

塾長　山田　大介